

Telnet セッションの設定 - Cisco ONS 15454 ML シリーズ カード

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[最初の ML シリーズ カード設定](#)

[コンソールポートを通して Initial ML シリーズ カード設定を作成して下さい](#)

[CTC によって Initial ML シリーズ カード設定を作成して下さい](#)

[Telnetセッション](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco ONS 15454 のマルチレイヤ (ML) シリーズ カードに Telnet 接続を確立する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454
- Cisco ONS 15454 ML シリーズ イーサネット カード
- Cisco IOS[®] ソフトウェア

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ONS 15454 Cisco ONS リリース 4.6.0 を実行する
- ML (ONS 4.6.0 リリースの一部として組み込まれる) その実行 Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(19)EO1。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始して

います。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

図 1 インストールされる ML シリーズ カードの ONS 15454 の Node View を表示する。このノードでは、インストールされる 2 つが ML 1000 カードの、2 つは ML 100T カードです 4 ML シリーズカードがあり。

図 1—インストールされる ML カードの ONS 15454 の Node View

最初の ML シリーズ カード設定

ML シリーズ カードに Telnet セッションを設定する前に、ML シリーズ カードの最低限の設定を設定して下さい。これを実現させる 2 つのメソッドがあります。

- 方式 1 — コンソールポートを通して
- 方式 2 — Cisco Transport Controller (CTC) によって

コンソールポートを通して Initial ML シリーズ カード設定を作成して下さい

コンソールポートを通して ML シリーズ カードを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. コンソールケーブルを得て下さい。
2. ML シリーズ カードのコンソールポートにケーブルの RJ-11 終わりを接続して下さい。
3. PC のシリアルポートにケーブル (DB-9) のもう一方の端を接続して下さい。
4. COMポートを通してはたらくためにターミナル エミュレータを、ハイパーターミナルのような、設定して下さい。
5. これらの設定を一致するためにターミナル エミュレータの日付比率および文字 フォーマットを設定して下さい: 9600 ボー8 データ ビット1 ストップ ビットパリティなし
6. デフォルトルータ プロンプトがユーザー モードに現われるまで PC で数回『Enter』をクリックして下さい。
7. イネーブル モードを開始するために enable とタイプして下さい。
8. グローバル コンフィギュレーション モードを開始するために **configure terminal** を入力して下さい。
9. グローバル コンフィギュレーション モードのホスト名を作成して下さい。hostname <hostname>
10. グローバル コンフィギュレーション モードにまだなる間、enable secret password を作成して下さい。enable secret <password>
11. ラインコンフィギュレーションモードを開始し、仮想端末装置のパスワードを作成して下さい。このパスワードは Telnet のためです。line vty 0 4
password <password>

CTC によって Initial ML シリーズ カード設定を作成して下さい

Cisco Transport Controller (CTC) で ML カードの初期設定を作成するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Timing Communication and Control 2 カード (TCC2) に初期設定コンフィギュレーション・ファイルをロードして下さい。次の手順を実行します。ML カードのための config-1 と名付けられる最低限の設定コンフィギュレーション・ファイルを作成して下さい。

```
hostname <host name>
enable secret <password>
line vty 0 4
password <password>
end
```

スロット 4 の ML カードを右クリックし、ショートカットメニューから『IOS startup config』を選択して下さい。図 2 の矢印 A を参照してください。図 2-IOS スタートアップ設定 オプションを選択して下さい IOS スタートアップ設定 オプションを選択するとき、ウィンドウは現われます。図 3 を参照してください。Local > TCC の順に選択して下さい。図 3-Local > TCC の順に選択して下さい Open ダイアログボックスは現われます。ステップ 1. で作成した初期設定コンフィギュレーション・ファイルにナビゲートして下さい。図 4 を参照してください。図 4-初期設定コンフィギュレーション・ファイル[Open] をクリックします。メッセージはオペレーションの確実であることを確認するためにプロンプト表示します。図 5 を参照してください。図 5-コンフィギュレーション ファイルをアップロードしたいと思うことを確認するためにプロンプト表示して下さい[Yes] をクリックします。転送正常なボックスは現われます。図 6 を参照してください。図 6-転送は正常です
2. TCC から ML カードに初期設定をダウンロードするためにスロット 4 の ML カードをリセットして下さい。

Telnetセッション

これらのさまざまな方法で Telnet接続を確立できます:

- 、2000 年は IP アドレスに + スロット 番号 Telnet で接続します。
- 前もって構成されたマネージメントポートへの Telnet。
- CTC のセッションを開いて下さい。

ONS 15454 の IP アドレスが 10.89.238.191 であり、ML カードがスロット 5 にあったら場合これらのステップを完了して下さい:

1. [Start] > [Run] を選択します。[Run] ダイアログボックスが表示されます。
2. Run ダイアログボックスの Open フィールドの cmd をタイプし、『Enter』 をクリックして下さい。DOSウィンドウは現われます。
3. telnet 10.89.238.191 2005 コマンドを発行して下さい。図 7 を参照してください。図 7-Telnet コマンドを発行して下さい パスワードプロンプトは現われます。図 8 を参照してください。図 8-パスワードプロンプト
4. 初期設定の時に仮想端末装置に割り当てられるパスワードを入力して下さい。

マネージメントインターフェイスを通して ML シリーズ カードにアクセスするとき、ダイレクト接続がなければ同じネットワークにある必要があります。10.10.10.1 で ML シリーズ カードのためのマネージメントインターフェイスの IP アドレスを設定する場合、Telnetセッションを設定するために telnet 10.10.10.1 コマンドを発行して下さい。

ML シリーズ カードに CTC によってアクセスするために、15454 Node View からの ML シリーズ カードを右クリックし、ショートカットメニューから『Open IOS Connection』を選択して下さい。図 2 の矢印 B を参照してください。

また、ツールバーで Open IOS Connection アイコンを使用できます。この場合、これらのステップを完了して下さい:

1. Open IOS Connection アイコンをクリックして下さい。矢印を [図 9](#) 参照して下さい。 [図 9 – CTC ツールバー アイコン SELECT ノードおよび Slot ウィンドウ](#) は現われます。 [図 10 を参照してください。図 10 – ノードおよびスロットを選択して下さい](#)
2. IOS セッション リストのための SELECT ノードから必須ノードを選択して下さい。『 Slot』 を選択リストから必須スロットを選択して下さい。
3. [OK] をクリックします。ユーザアクセス 確認 ウィンドウは現われます。 [図 11 を参照してください。図 11 – ML シリーズ カード IOS 接続](#)
4. パスワードを入力し、『Enter』 をクリックして下さい。

セキュリティ対策として、最初に、使用 Telnet で接続する VTY 行は申し分なく設定されません。Telnetアクセスを得るために、VTY 行を設定するシリアルコンソール接続を通して VTY 行を設定するか、または startup-configuration ファイルをロードして下さい。そうし損う場合 Telnetセッションはエラーメッセージを表示する。 [図 12](#) を参照してください。

図 12 – VTY 行が設定されない場合の現われるエラーメッセージ

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)